



別府市の社会福祉法人「太陽の家」に完成した新資料館「太陽ミュージアム」が7月4日、オープンします。

① 太陽ミュージアム開設の目的は何ですか？

〇〇社会広める拠点に



7月4日にオープンを迎える太陽ミュージアム。20日、別府市内産の太陽の家、撮影・江藤成吾

「太陽の家」新資料館

4日オープン

別府市内産の社会福祉法人「太陽の家」(山下達夫理事長)に完成した新資料館「太陽ミュージアム」が7月4日、オープンする。コンセプトは「学ぶ」「体験」「感動」。太陽の家の創設者で「保護より機会を」の理念を提唱した故・中村裕博士の業績を伝え、障害者の仕事やスポーツへの理解を深めてもらう。29日、報道関係者向けの内覧会があった。



2000年に開設した歴史資料館の老朽化に伴い、東京五輪パラリンピックに合わせて太陽の家の本館前に新築した。鉄骨平屋(約千平方メートル)。多くの県産材を使い、広い窓から採光。太陽の光が降り注ぐ様子をモチーフとした。展示室や研修室、屋外は

②何が展示されていますか？



車いす体験ゾーンなどを整備。共生社会に向けた情報発信を続け、交流拠点を目指す。展示室入り口には、障害者ら約400人が作った竹のアートクラフト「ミニノタイヨウ」を設置した。太陽の家やパラリンピックの歴史、中村博士の業績などを資料やパネルで紹介。坂道や段差、砂利道など街中を再現したコースでの車いす体験や、車いすレ

③どんな体験ができますか？



①車いすなどの障がい者スポーツの体験コーナー②治工具や自助具の体験もできる

ーサーやバスケットボール用車いすの試乗などができる。福祉車両、障害のある人のために工夫した生活や職場の道具・用具を展示。共同出資会社の紹介コーナー、アート作品やオリジナル商品を販売するショップもある。

オープンセレモニーを開く。総事業費は県や市の助成金、個人・企業の寄付を含め約3億2600万円。山下理事長は「障害があることは特別ではない。資料館を通して共生社会を広げていきたい」と話している。(和田礼子)

④見出し「〇〇社会広める拠点に」。〇〇に入る漢字を考えてください。